

私も
ひとこと

前沢区／吉田加代子 さん

「子育てにやさしい町」に
おねがい

先日、所属団体の事業で区長・議員さんとの懇談会がありました。所属団体でのその事前の打ち合わせの際、以前子育て中の親の集まりの中で、就学援助の申請をしたところ、該当しない。前年とはほぼ変わらぬ収入なのに、今まで該当してきたものが今年はいま「なぜか」と思いながらも同じような話が聞かえてきました。基準が変わったのかと思いついていました。との話があり話題にしてみました。調べてもらったら基準は変わっていませんでした。しかし、そ

れ以上のことは本人が問い合わせなければ回答が得られないのはその通りです。
行政の窓口対応の話だけでなく、個々の案件とはいえ、明確で丁寧な説明が必要だと思いました。
また、「子育てにやさしい町」の「子」は何歳迄でしょう。子供が小さいうちは、就学や医療（健診や予防接種）等多くの助成があるのに、高校生になると交通費や医療費、入場料等も大人料金なのに、その助成は何もないような気がします。義務教育でないといえ、ほとんどの子供が通うようになっています。授業料に交通費、部活動費など小中学校以上に費用がかかると思います。どんな手当があるのか思いつきませんが、ぜひ「子育てにやさしい町」の「子」に高校生も入れてください。

● 議会運営委員会 ●

下記の新メンバーに変更となりましたのでお知らせします。



委員長 遠藤 敏 副委員長 菊池 嘉穂
委員 佐藤 正文・高橋 勝司・菅原 今朝男
委員 安部 皓哉・千田 美津子・安倍 静夫
オブザーバー 小沢 昌記・副議長 渡辺 忠
阿部 加代子

あともぎ

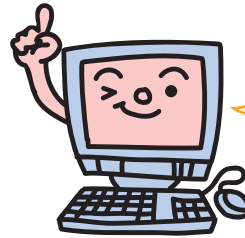
12月定例会も、活発な質疑や討論が展開され、会期を終えることができました。毎回のよう、市民の皆様、議会の内容を分かり易くお伝えしたいと努力していますが、これです。と定例会の本会議は、ネットライブ中継しておりますので、傍聴のつもりでご覧いただければ嬉しいです。新しい年を迎えました。昨年の世相は「変」でしたが、今年は市民の皆様にとって「幸」でありますように心から願っています。

(菅原 明)

議 ◆ 会 ◆ 日 ◆ 誌

10月22日	組合議会・各種委員会出席報告会、議員説明会
30日	岩手県市議会議員研修会
31日	平成20年第4回臨時会、議会運営委員会、建設環境常任委員会
11月17日	教育厚生常任委員会
19日	組合議会・各種委員会出席報告会、議員説明会、岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会
25日	議会運営委員会
28日	平成20年第4回定例会（～12月16日）
<会期中に開催された委員会>	
	奥州市地域医療調査特別委員会 1回
	北上川治水対策特別委員会 1回
	競馬事業調査特別委員会 1回
	岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会 1回
	議会運営委員会 3回
	総務常任委員会 1回
	教育厚生常任委員会 1回
	産業経済常任委員会 2回
	建設環境常任委員会 1回
	議会広報編集委員会 1回

アドレスは

<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/gikai/>

詳しい内容については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

議会開会中は、どなたでも議会を傍聴することができます。
12月定例会の傍聴者数 計23人（延べ人数）

水沢区／千葉 幸一 さん

住みよい集落を
目指して

私は仕事柄長い間県内の農村集落を見てきました。どこにも大自然と融合したすばらしい景観の集落が有り住んでみたい所もありました。
このように魅力的な集落は、集落の人々の総意で、長い年月をかけて道水路や広場、生け垣等を整備し、集落のシンボルである樹などを残し、景観形成に努めてきた結果です。そこには、若い人たちが多くいて、活性化されていくことが印象的です。そこに至るまでには、行政が

ら何らかの支援を頂いたとする集落が多くありました。
今、市内の多くの集落で将来が危ぶまれており、十年後どうなっているかと考えると背筋が寒くなると言う人さえいます。これは、少子高齢化社会だからとかたづける問題ではありません。これからは、集落の事は集落の人々が主体をもって考え実行していく時代だと聞きます。その際議会や行政は、情報を的確に捉えてのタイムリーな支援をお願いします。
私は、これからも「若者に魅力のある集落づくり」に努めて参りたいと考えています。